



平成 26 年 11 月 25 日

各 位

株 式 会 社 フ ィ ス コ
代 表 取 締 役 社 長 狩 野 仁 志
(J A S D A Q ・ コ ー ド 3 8 0 7)
問 い 合 わ せ 先 :
取 締 役 管 理 本 部 長 松 崎 祐 之
電 話 番 号 0 3 (5 7 7 4) 2 4 4 0 (代 表)

通期連結業績予想の修正及び営業外収益の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 10 月 10 日に公表いたしました平成 26 年 12 月期（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）の通期の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、営業外収益（為替差益）を計上いたしますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 12 月期通期連結業績予想の数値の修正（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）
（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	8,539	375	603	408	円 銭 11.52
今回修正予想 (B)	8,465	317	926	557	15.70
増減額 (B - A)	△74	△57	322	149	
増減率 (%)	△0.9	△15.4	53.4	36.5	
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 12 月期)	6,681	354	580	558	16.06

(注) 1 株当たり当期純利益につきましては、平成 26 年 7 月 1 日付の株式分割を考慮して算出しております。

(修正の理由)

売上高につきましては、概ね前回の公表値どおりに推移しておりますが、営業利益は、当社の子会社である株式会社ネクス（以下「ネクス社」といいます。）の売上原価が想定為替レートを上回る急激な円安の影響により仕入原価が高騰したため、継続した原価低減の交渉、販売費及び一般管理費につきましても、同社グループにおける役員報酬のカット、販売管理費の更なる削減が功を奏し、前回の公表値を 57 百万円下回る 317 百万円（増減率 15.4%減）に留まる見込みです。

経常利益につきましては、予想数値を 322 百万円上回る 926 百万円（増減率 53.4%増）となる見込みです。これは、ネクス社が円安対策の一環としておこなっていたヘッジ手段である外国為替証拠金取引のポジションの解除に伴い為替差益 566 百万円が発生したことによるもので

あります。ネクス社は自ら工場を持たないファブレス形態のため、販売する製品の生産に関しては、その多くを海外 ODM に委託し、輸入をして調達しているため、以前より為替変動によるリスク対策を行ってまいりました。ネクス社におきましては、来期以降、ヘッジ手段として為替予約等を採用し、ヘッジ対象である輸入仕入調達にかかる外貨建金銭債務との損益計上のタイミングを合わせたヘッジ会計を適用することで、業績予想の変動の低いリスクヘッジを行う予定にしております。

当期純利益につきましては、経常利益の増加に伴い、従来予想を 149 百万円上回る 557 百万円（増減率 36.5%増）となる見込みです。

2. 営業外収益（為替差益）の計上

平成 26 年 12 月期におきまして、ネクス社が円安対策の一環としておこなっていた外国為替証拠金取引による為替差益 566 百万円を計上する予定です。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在に入手可能な資料を基に作成したものであり、実際の業績は、予想数値と異なる可能性があります。

以 上